

平成24年度 中学校卒業程度認定試験実施について

病気などやむを得ない事由によって、保護者が義務教育諸学校に就学させる義務を猶予または免除された子女等に対して、中学校卒業程度の学力があるかどうかを認定するために国が行う試験です。合格した者には高等学校の入学資格が与えられます。

受験資格（次のいずれかに該当する方）

1. 就学義務猶予免除者である者または就学義務猶予免除者であった者で、平成25年3月31日までに満15歳以上になる者
2. 保護者が就学させる義務の猶予または免除を受けず、かつ、平成25年3月31日までに満15歳に達する者で、その年度の終わりまでに中学校を卒業できない（4に掲げる者を除く）と見込まれる事についてやむを得ない事由があると文部科学大臣が認めた者
3. 平成25年3月31日までに満16歳以上になる者（1および4に掲げる者を除く）
4. 日本国籍を有せず平成25年3月31日までに満15歳以上になる者

願書受付 8月17日（金）～9月4日（火） ※9月4日消印有効
願書は学務課へお問い合わせください。

問い合わせ 学務課 ☎876-1234（内線6511）

お知らせ

6月19日の大雨で、前田小学校前の道路（前田6号線）が一部崩落しました。住民の安全のため一部を通行止めにしていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

前田6号線の一部通行止め

区画整理課
☎876-1234
(内線4214)

母子及び父子家庭等医療費助成制度について

母子及び父子家庭等医療費助成制度を8月1日以降に新規申請する方は、申請日から助成対象になります。また、他市町村でこの制度を受けていた方が転入し同制度を申請する場合は、浦添市の住民となった日から助成対象になります。詳しくはお問い合わせください。

児童家庭課 母子係
☎876-1234
(内線3612)

8月ボランティア月間の実施について

今年も8月をボランティア月間と定め、期間中に様々なボランティア関連のイベントを実施します。市民の皆さまの多数のご参加をお待ちしています。

期間 8月1日（水）～31日（金）

内容 「市民ぐるみのボランティア宣言」「東日本大震災復興支援募金活動」「フードドライブ」「市内ボランティア団体パネル展示（市役所1階市民ホール）」「中高生ボランティア体験」「福祉マップづくり」「ワンコイン芸能祭」その他各種講座など

母子家庭自立支援教育訓練給付金事業について

児童家庭課 母子係
☎876-1234
(内線3612)

浦添市では母子家庭の母の自立の促進を図ることを目的として、経理事務、ホームヘルパーなど指定された教育訓

救急法講習会のお知らせ
「ものよりも確かな備え 救急法」
愛する命を守りたい！

消防本部 総務課 救急救助係
☎875-0105

日時 8月18日（土）午後1時～4時

場所 浦添市消防本部2階講堂

内容 成人に行う心肺蘇生法（AED含む）、止血法、異物除去

定員 30人（市内在住・在勤の方優先）

受付期間 8月1日（水）～8月17日（金）午前9時～午後5時（土・日・祝日を除く）

練を受講した母に対して、自立支援給付金を支給します。
対象者 次の①と②の両方に該当する方
①浦添市に住所を有する母子家庭の母 ②児童扶養手当の支給を受けているか、同様の所得水準にある者
対象講座 雇用保険制度の教育訓練給付の指定講座など、職業に結びつく可能性の高い講座
支給額 対象講座の受講料の20％に相当する金額（上限10万円、下限4千円）
講座受講する前に浦添市児童家庭課に事前相談が必要です。申請方法など詳しくはお問い合わせください。

ちよこっと スコット!! **最終回**

ウィルソン・スコット Scott Wilson
2010年8月から国際交流員として、浦添市役所国際交流課に配属される。米国マサチューセッツ州出身

原文・和訳：ウィルソン・スコット

ありがとうございます！

皆さん、お疲れ様です！私は今月で国際交流員の契約が終わって、アメリカに帰国します。2年間ずっとアメリカに戻っていないので、沖縄が母国で、アメリカが外国のような感じがします。去年は研修で東京に行きましたが、同じ日本の中ですが、沖縄とは雰囲気が違い、外国のようでした。電車の中には、沖縄のモノレールと違って、アニメのシーサーや虹型の色や「めんそーれー」などのうちなーぐちがなく、寂しい感じがしました。東京でさう寂しく感じたので、本当の外国である私の出身地に戻ると、どのように感じるか想像もできませんが、私の人生を変えてくれた沖縄の人を思い出し、寂しくなるのは確かです。

ここで、その沖縄の人たちに感謝したいと思います。私がゲームが下手なのにも関わらず遊んでくれた幼稚園と児童センターの子ども達、その遊びが終わって疲れたときに冷たいお茶を出してくれた先生たち、アメリカの文化講座に参加してくれた人たち、私の片言の日本語をなんとか理解してくれた同僚たち、沖縄にしが存在しない食事、かりゆし、いちゃりばちよーでーなどを教えてくれたウチナンチュたち、そして毎月「ちよこっとスコット!!」を読んでくれた皆さん、本当にありがとうございます。これからも私の温かい思い出として残っていきます。

私のことも出会ってきた人の記憶に少しでも残っていたらうれしいです。特に私と交流のあった子ども達は大人になって、肩車をされた、「無限の鬼ごっこ」でいつも鬼になっていた、皆と同じようにピザやワンピースの漫画が好きだった外国人を思い出し、一人でも「やっぱり世界中の人は違うところよりも同じところが多いね」という考え方をしてくれたら、私の2年間は大成功だと思います。

皆さん、この2年間二フェーデービル&マタウイチェーサビル！

Thank You!

Goodbye everyone! My Coordinator for International Relations contract is up this month, and I will be returning home to the U.S. Since I haven't returned to the U.S. at all for two straight years, I feel like Okinawa is my homeland, and America is the foreign country. Last year I went to Tokyo for training, and even though it was still in Japan, the atmosphere was completely different, and I felt like I was in a foreign country. The trains were different from Okinawa's monorail, and there were no cartoon shisas, bingata colors, or uchin?guchi like "mens?r?," and I felt like something was missing. Since I felt that just in Tokyo, I can't imagine what it's going to feel like going back to my hometown which is an actual foreign country. But one thing that's for certain is that I will miss the Okinawan people here who changed my life.

Here I would like to express my gratitude to those people. To the children at kindergartens and youth centers who played games with me even though I was bad at them, to the teachers who brought out some nice cold tea for me after I was exhausted from playing with the kids, to the people who participated in my American culture classes, to my coworkers who did their best to understand my broken Japanese, to the uchin?nchu who taught me about all the food, kariyushi, and icharibach?d? that only exist in Okinawa, and of course to everyone who read this "Chokotto Sukotto!!" article each month, thank you so much. You will all remain inside of me as warm memories of Okinawa.

I hope that I can remain in the memories of some of the people that I've met here too. I especially hope that the kids I've interacted with, when they grow up, they remember the foreigner who let them ride on his shoulders, always volunteered to be "it" in "Endless Tag," and who liked pizza and One Piece manga, just like them. If just one of them thinks "maybe people all over the world have more similarities than differences," then I think my two years here will have been a great success.

Well everyone, nif? d?biru for these past two years, and mata uich? sabira!

「広報うらそえ」に掲載する子どもの写真募集

● 子どもの写真を募集します。
● 応募方法は写真を郵送または画像データをメールで送付。窓口へ直接提出也可。
● 集合写真は不可。
※ 締切日は毎月12日まで。被写体の子どもの居住地区（安波茶・伊祖など）・氏名（ふりがな）・年齢・一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課 ☎876-1234(内線2613)
E-mail: kokusai@city.urasoe.lg.jp

2年間ありがとうスコット

平成22年8月から国際交流員として、国際交流活動・通訳・翻訳などの活動を行ってきたスコットさんの任期が終了となりました。お疲れ様でした。